

どうなる、太陽の城跡地。

私の公約の一つである「コンベンションホールの再考」。整備が予定されていた「太陽の城跡地」のあり方について、多くの皆様と意見交換をしてきました。ご意見の多くは、「コンベンションだけではもったいない」。これを受け、来訪者だけでなく、市民の皆様が日常的に使える機能を追加し、愛着の持てる居場所となるよう100年先の未来につながるSDGsを意識した「(仮称)おかざき乙川リバーフロント交流拠点」として、現行計画のアップグレードを決めました。昨年12月の市議会で概要を発表し、事業者との協議を再開しています。この案について、将来に渡って長く利用することとなる子どもたちにアンケートを行った結果、約9割の子どもたちが、新たな拠点を楽しみにしていることがわかりました。

今後は、整備条件を整理して事業費を算出し、事業者に参加の可否についてご判断をいただく予定で、令和8年度内の供用開始を目指します。

※検討の経緯やアンケート結果は、市ホームページをご覧ください。



岡崎市長
中根 康浩